

2012年春闘 雇用の確保、賃金の底上げで、内需中心の経済、震災復興を

## くらし・雇用を守るニュース

No. 6・2012/3/5

発行：宮城県春闘共闘／宮城県労連 TEL:022-211-7002 fax:022-211-7004  
〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋 1-5-13

[mygroren@bz03.plala.or.jp](mailto:mygroren@bz03.plala.or.jp)

### ソニーは不当な雇い止めを中止せよ！

### 支援する会が多賀城で集会とデモを開催！

### 多賀城に300人

3日、ソニー労組を支援する会は塩釜地方春闘共闘会議、多賀城懇話会、塩釜革新懇との共催で「ソニーの社会的責任を問う」集会を多賀城駅前で開催しました。集会には支援する会の各団体や地元住民など300人が参加しました。現在、期間社員12人がソニーに対し、正社員化を求めてたたかっています。主催者を代表してあいさつをした小野寺弁護士は、「ソニーは雇い止めの不当な提案を続けているが、全国に支援が広がっている。被災地・



被災者の雇用を守ろう」とうったえました。ソニー労組仙台支部を代表して発言した松田委員長は「内部留保が3兆円もあり、雇用を守る体力がある **ソニー労組仙台支部松田委員長**

大企業の横暴は許されない」と強調し発言しました。また、松田さんの小学校6年生の息子さんが、学校の作文で「ぼくの夢と仕事の意味」という題で書いた作文を紹介しました。作文では「父に憧れ将来はソニーで働きたい。しかし、いまソニーでは期間社員が解雇され大変な事態になっている。そんな中、父は体を張って会社に立ち向かっている。沢山の人を助ける父の姿をみて、この仕事に就きたいと思いました。自分の為だけではなく、人の為に働きたいと思います。(一部抜粋)」途中、感極まった松田委員長へ参加者から「がんばれー」の声援がたくさん寄せられました。



その後、各団体からの連帯のあいさつ、団結ガンバローに続き、ソニー多賀城工場まで怒りのデモ行進を行いました。デモ行進では、沿道から地元の多賀城市民から声援も寄せられました。



デモ隊の後ろ建物がソニー多賀城工場



怒りのシュプレヒコールを上げる  
ソニー労組の青年組合員たち

## 本日「3・5許さないぞ！！消費税の増税 比例定数の削減反対緊急集会・デモ行進」 開催しました。

大雪のなか参加された方々、大変ご苦労様でした。